

松橋 ヒロ子さん(71歳)

夢は海外留学「まだまだ学びたいことがある」

「先生、この計算教えて!」「この漢字はどう読むの?」「先生こっちにも来て!」という子どもたちの声に「順番にね」と、やさしく笑顔で答える松橋さん。20年以上務めた生命保険会社を60歳で退職して間もなく、シルバー人材センターに登録し、現在、放課後児童クラブで指導補助をしています。

「**シルバー人材センター**に登録したことで、いろいろな仕事やたくさんの人に出会うことができました。第二の職場として活躍できる場所があり、毎日がとても充実しています。それに、仕事を続けることで、健康にも気を付けるようになりました」。

昔から人と接することが好きで、シルバー人材センターの仕事のほか、ボランティア活動や音楽サークル「秋田マンドリン倶楽部」でのマンドリンの演奏など、退職後も様々なことに挑戦しています。

「**『金の卵』**とも言われた私たち団塊の世代もシルバー世代となり、これからは**『銀の卵』**として、さらに活躍できると思っています」と語る松橋さんの今後の夢は、海外留学をすること。

「**まだまだ**学ぶことはたくさんあるし、新しい世界をもっと広げていきたい」。松橋さんの人生はこれまでも、そして、これからも希望に満ち溢れています。



▲「子どもたちと触れ合うことで元気をもらっています」と松橋さん